

第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

構想の推進

総合計画を推進するための土台づくり

- 1 全員参加によるまちづくりの推進
- 2 市民の信頼に応える行政運営
- 3 健全かつ持続可能な財政運営

担当課	企画課・秘書広報課・デジタル政策課・庶務課	構想の推進1の全指標達成率					
構想の推進	総合計画を推進するための土台づくり	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	1 全員参加によるまちづくりの推進	指標数	15	15	15	15	15
目指す姿	市民が積極的に様々な活動に参画することができる	達成数	8	8	0	0	0
	市民が持てる力を最大限に発揮し、想いを形にできる	達成率	53.3%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	2	2	2	2	2
	達成数	0	0	0	0	0
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

成果指標1	「市民活動などの地域活動の推進」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	秘書広報課	
		R2	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0			
		65.9%								
		目標値	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0			
		実績値	59.2	57.9						
		評価	× 未達成	× 未達成					以上	
目標値の考え方	「市民活動などの地域活動の推進」に満足している市民の割合について、令和2年度実績65.9%を参照し、各年度1%程度の上昇を見込む中で71.0%とした。									
成果指標2	「市民の声をうかがう機会の充実」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	秘書広報課	
		R2	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0			
		50.7%								
		目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0			
		実績値	43.0	46.0						
		評価	× 未達成	× 未達成					以上	
目標値の考え方	「市民の声をうかがう機会の充実」に満足している市民の割合は、令和2年度実績50.7%を参照し、各年度1%程度の上昇を見込む中で56.0%とした。									
R4年度	1 (実績評価)	魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金など市民が自主的に行う事業への支援を実施し、魅力あるまちづくり事業補助金のイベント等の補助メニューについて補助率を2/3から3/4に引き上げたが、長期的な事業控えとなったために基準値を下回ったと考えられる。								
	(次年度修正点)	引き続き、魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金について手引きの送付やHPへの掲載などで周知し、地域活動の推進を図っていく。								
R4年度	2 (実績評価)	令和4年度から新たな広聴制度として市政WEBアンケートを開始し、広く意見を伺う機会を創出したものの、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度からタウンミーティングの参加対象者を限定したことなどにより、基準値を下回ったと考えられる。								
	(次年度修正点)	引き続き、市政WEBアンケートや市長への手紙、意見箱などの広聴制度について周知を図っていく。								

2 基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コード)	指標数	13	13	13	13	13	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況			
	達成数	8	8	0	0	0				
	達成率	61.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%				
O1 市政への参画機会の推進	達成状況	指標数	3	3	3	3				
		達成数	1	0	0	0	0			
		達成率	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
O101	パブリックコメントの推進	1件に対する意見数(年間平均)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	企画課
			R1	3	3	3	3	3		
			2件							
			目標値	3	3	3	3	3		
			実績値	12.3	2.8					
			評価	○ 達成	× 未達成				以上	
O102	市民との協議機会の充実	未来ビジョン会議の開催回数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	企画課
			R1	10	10	10	10	10		
			8回							
			目標値	10	10	10	10	10		
			実績値	2	3					
			評価	× 未達成	× 未達成				以上	
O103	審議会等への参画推進	参画割合(参画人数実数/ポスト数)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	企画課
			R2	75.0	77.0	79.0	81.0	83.0		
			72.8%							
			目標値	75.0	77.0	79.0	81.0	83.0		
			実績値	71.7	66.5					
			評価	× 未達成	× 未達成				以上	
R4年度	O101	令和4年度のパブリックコメント案件は4件、意見の総数は11件となった。内容としては、伊東市立地適正化計画(案)に対する意見募集について多くの意見があったが、他の3件については意見がなかった。案件ごとに概要版を作成し、分かりやすいように努めているため、より多くの市民から意見をもらえるよう、さらに周知に努めていく。								
	O102	コロナ禍の影響により3回のみ開催となった。次年度以降は、新型コロナウイルス感染症が収束しつつあることから、市民との協議機会の充実を図るため、開催していく。								
	O103	昨年度と比べ、実績値が減少した。多くの審議会等に参画している方もいることから、重複している方を選出しないよう庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。								

O2 市民の自主的なまちづくり活動への支援	達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
		達成数	1	2	0	0	0			
		達成率	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%			
O201	地域や市民活動団体等が行う社会貢献活動への支援	まちづくり事業又は文化振興事業実施団体数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	企画課 秘書広報課
			R1	58	59	60	61	62		
			56団体							
			目標値	58	59	60	61	62		
			実績値	43	56					
			評価	× 未達成	× 未達成				以上	
O202	市民活動団体等を対象とした相談会や研修会などの開催	相談会・研修会の開催回数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	企画課
			R1	13	13	13	13	13		
			11回							
			目標値	13	13	13	13	13		
			実績値	10	17					
			評価	× 未達成	○ 達成				以上	
O203	自治会加入促進等の支援	HP・広報紙等で自治会活動を周知した回数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	秘書広報課
			※	2	2	2	2	2		
			—							
			目標値	2	2	2	2	2		
			実績値	3	3					
			評価	○ 達成	○ 達成				以上	
R4年度	O201	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止はなかったものの、事業実施の団体数は56団体となり、目標値を下回った。引き続き、各補助制度の周知を図っていく。								
	O202	前年度実績値及び目標値を超えたことについては、評価できる。次年度以降も引き続き、市民活動団体等がより良い団体運営が可能となるよう相談会を開催するとともに、研修会を交え、団体運営に必要な知識等を習得していただける場を提供していく。								
	O203	広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。								

※ 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

O3	広報・広聴の充実及びわかりやすい情報発信		達成状況		指標数	4	4	4	4	4	単位	担当課
			達成数	3	3	0	0	0				
			達成率	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7				
0301	広報紙等の充実	市からの情報提供に対する満足度	R2	目標値	64.0	66.0	68.0	69.0	70.0	% 以上	秘書広報課	
			62.9%	実績値	53.7	55.5						
			評価	× 未達成	× 未達成							
0302	SNS等を利用した情報提供機会の創出	年間掲載回数	R1	目標値	480	480	480	480	480	回 以上	秘書広報課	
			319回	実績値	1,064	799						
			評価	○ 達成	○ 達成							
0303	市民が意見や提案しやすい環境づくり	タウンミーティングの開催回数	R2	目標値	16	16	16	16	16	回 以上	秘書広報課	
			16回	実績値	17	16						
			評価	○ 達成	○ 達成							
0304	わかりやすい文書等の作成のための仕組みづくり	文書事務研修会の開催	R2	目標値	1	1	1	1	1	回 以上	庶務課	
			1回	実績値	1	1						
			評価	○ 達成	○ 達成							
年度評価 R4	0301 基準となる令和2年度と比較し体系的・システマ的に大きく変更した点はないが大きく目標値を下回ったため、要因は情報提供の内容が推察される。令和4年度は市政WEBアンケートで「よく読んでいる記事」上位の項目である「観光イベント」、「保険・福祉・介護」の情報を重点的に掲載した。引き続き市民のニーズを把握し、興味を持ってもらえる情報の発信に努める。											
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させることにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回っている。毎日配信を行っていた新型コロナウイルスの感染者状況を令和4年9月から週一回の配信としたため、前年度実績比は減となった。											
	0303 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催した。市内15地区に加え、伊東市保育園父母の会連合会との子育て世帯タウンミーティングを開催し、多くの意見を聴取した。											
	0304 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。											

O4	情報化の推進及びデジタル社会への対応		達成状況		指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課
			達成数	3	3	0	0	0				
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7				
0401	ホームページ・メールマガジンの充実	ホームページアクセス件数	H27-R1平均	目標値	805,000	810,000	815,000	820,000	825,000	件 以上	デジタル政策課	
			802,792件	実績値	1,497,895	1,262,677						
			評価	○ 達成	○ 達成							
		メールマガジン登録者数	R1	目標値	13,000	13,500	20,000 (14,000)	20,200 (14,500)	20,400 (15,000)	人 以上	デジタル政策課	
			12,671人	実績値	19,182	19,940						
			評価	○ 達成	○ 達成							
0402	オープンデータ化の推進	オープンデータの公開件数	R3.2.1	目標値	50	65	130(80)	145(95)	160 (110)	件 以上	デジタル政策課	
			34件	実績値	82	117						
			評価	○ 達成	○ 達成							
年度評価 R4	0401 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。また、メールマガジン登録者数については、令和4年度実績を踏まえ目標値の再設定を行った。											
	0402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。また、積極的に公開しているため、目標値の再設定を行った。											

※機構改革に伴う業務の見直しのため、～R4：秘書課、情報政策課、R5～：秘書広報課、デジタル推進課
※目標値における（）は、当初の目標値

担当課	企画課・職員課・庶務課・デジタル政策課・収納課	構想の推進2の全指標達成率					
構想の推進	総合計画を推進するための土台づくり	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	2 市民の信頼に応える行政運営	指標数	21	21	21	21	21
目指す姿	市民に信頼される	達成数	13	12	0	0	0
		達成率	61.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	1	1	1	1	1	単位	担当課	
	達成数	0	0	0	0	0			
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	「市民に対する市職員の対応」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	職員課
		R2	67.3%	69.0	70.0	71.0	72.0		
目標値の考え方	令和2年度実績67.3%を参照し、各年度1%程度の上昇を目指し、73.0%とした。								
R4年度	1（実績評価）・令和3年度を上回る実績値であるが目標値には達していない。 （次年度修正点）・目標と実績の差は縮まっていることから、引き続き職員によるおもてなしコンシェルジュを実施し、市職員の対応の満足度向上を図る。								

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）	指標数	20	20	20	20	20	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況				
	達成数	13	12	0	0	0					
	達成率	65.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
O1 信頼される人材の育成	達成状況	指標数	5	5	5	5	5	単位	担当課		
		達成数	3	2	0	0	0				
		達成率	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O101	社会情勢をとらえた研修の実施	集合研修等で実施するアンケートにおける受講者の習熟度	-	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	職員課
				実績値	100.0	95.0					
			※1	評価	○ 達成	○ 達成				以上	
O102	積極的な採用活動	職員採用試験における受験者数	R2	目標値	90	95	100	100	100	人	職員課
				実績値	118	83					
			87人	評価	○ 達成	× 未達成				以上	
O103	効果的な人事評価の実施	人事評価に関する研修等で実施するアンケートにおける受講者の習熟度	-	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	職員課
				実績値	-	100.0					
			※1	評価	× 未達成	○ 達成				以上	
O104	職員の心身の健康保持	特定保健指導実施率	R2	目標値	35.0	40.0	45.0	45.0	45.0	%	職員課
				実績値	29.4	38.9					
			32.4%	評価	× 未達成	× 未達成				以上	
O105	職員相互の応援体制の充実	伊東市職員業務応援体制実施要領に基づく実施件数	-	目標値	3	3	6	8	10	件	職員課
				実績値	3	2					
			※2	評価	○ 達成	× 未達成				以上	
年度評価	R4	O101 令和4年度は、管理・監督職を対象としたハラスメント防止研修を実施した。研修受講後のアンケートにおいて、理解できたと回答した受講者が95%（内訳は「よく理解できた」が56%、「理解できた」が40%）となり、目標値を上回った。									
		O102 一般事務（大卒）及び技能労務職員の受験者数が伸びず、目標値を下回った。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い民間企業への就職希望が増加したものと推測する。引き続き、インターンシップの受け入れや積極的な広報活動を行い、受験者数の増加を目指す。									
		O103 新任管理職を対象とした人事評価制度研修（eラーニング）を実施した。eラーニングの実施により、人事評価制度の一連の流れを受講者のペースで学習することができたため、研修受講後のアンケートでは、理解できたと回答した受講者が100%となり、目標値を上回った。									
		O104 指導対象者に通知を発送し受講の意思を確認している。令和4年10月に会計年度任用職員等が共済組合に加入したことにより、庁舎外対象者の割合が増加したため、目標値を達成できなかった。実績値は前年を上回っていることから、引き続き対象者への受講を促していく。									
		O105 応援体制を利用したい課には利用方法等の説明を随時行っている。実施要請は3件あったものの、そのうち1件は職員の調整がつかず、実施に至らなかった。引き続き、制度利用を希望する課に利用方法等の説明を行っていく。									

※1 令和2年度までは、ポイント制としており、令和3年度からはパーセントでの集計とするため、基準値を一とした。

※2 令和2年度末に伊東市職員業務応援体制実施要領が策定されたため、基準値を一とした。

O2 持続可能な行政運営の確立・運用			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O201 PDCAマネジメントサイクルの推進	見直し事業の割合	R2 20.6%	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	%	企画課	
			実績値	22.8	23.8						
			評価	× 未達成	× 未達成						
O202 改革提案機会の推進	私の一改革提案件数	R2 48件	目標値	55	60	60 (120)	60 (400)	60 (600)	件	企画課	
			実績値	52	48						
			評価	× 未達成	× 未達成						
O203 先進技術（AI・RPA）等の活用推進	先進技術を取り入れた業務数（累計）	— ※3	目標値	検討	1	2	3	4	業務	企画課 デジタル政策課	
			実績値	実証実験	1						
			評価	○ 達成	○ 達成						
O204 民間活力の活用推進	サマーレビューにおける委託代替え事業数及び新規委託事業数（累計）	R2 1業務	目標値	1	2	3	4	5	業務	企画課	
			実績値	0	1						
			評価	× 未達成	× 未達成						
年度評価 R4	<p>O201 見直し事業の件数は増えたが、総事業数も増えており、割合としては目標値に届かなかった。令和5年度についても、引き続き見直し項目を増やし、積極的な見直しにつなげる。</p> <p>O202 令和2年度と同様の提案件数となり、未達成となった。成果提案については、庁内で情報共有を行い、業務の効率化を図るとともに、ボトムアップ提案については、入賞した提案を中心に実現することで、提案件数の増加に努めていく。また、目標値について、庁内の共有ポータルサイトに提案を投稿することを前提に設定したが、本運用ができなくなったため、目標値を令和5年度から変更する。</p> <p>O203 音声文字変換システムを導入したことにより、会議録作成時間の短縮につながり、業務の効率化に寄与した。</p> <p>O204 新規事業を委託にて実施する取り組み1件にとどまった。令和5年度のサマーレビュー実施に当たっては、民間活力の活用推進に係る検討を重点項目として取り組み、民間活力活用推進に努める。</p>										

※3 令和3年度から新たに検討していくものであることから、基準値を一とした。

O3 広域行政等の推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O301 各市町等との各分野における連携の推進	他自治体・企業等との新規連携事業数（累計）	— ※4	目標値	2	4	6	8	10	事業	企画課	
			実績値	2	6						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	O301 他自治体と合同でセミナー等を開催することで、効果的な情報発信をすることができた。										

※4 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

O4 内部統制の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401 業務プロセスの可視化（事務の見える化）	不適正な事務処理の発生件数（懲戒処分を受けたもの）	R2 0件	目標値	0	0	0	0	0	件	職員課	
			実績値	1	2						
			評価	× 未達成	× 未達成						
O402 業務手順書の整備	業務手順書のホームページでの公開数	R2 250件	目標値	280	400	410	420	430	件	職員課	
			実績値	392	404						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	<p>O401 発生した2件については職員の倫理観の不足が原因であるため、今後もコンプライアンス研修やハラスメント研修を実施し、コンプライアンスの強化を図る。</p> <p>O402 業務手順書の活用による業務の可視化・平準化に努めた。発生した2件については職員の倫理観の不足が原因であるため、今後もコンプライアンス研修やハラスメント研修を実施し、コンプライアンスの強化を図る。</p>										

O5 情報公開及び個人情報保護の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O501 情報公開制度の適正な運用	情報公開請求に係る15日以内の処理割合	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	庶務課	
			実績値	85.2	92.2						
			評価	× 未達成	× 未達成						
O502 個人情報保護制度の適正な運用	自己情報開示請求に係る15日以内の処理割合	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	庶務課	
			実績値	100	100						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	<p>O501 15日を超過する処理となった案件があり、目標未達成となった。適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底したい。</p> <p>O502 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていきたい。 ※制度改正に伴い令和5年度以降の管理指標については、当該指標中「15日以内」を「30日以内」に改める。</p>										

06 情報化の推進及びデジタル社会への対応			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	4	4	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0601 ホームページ・メールマガジンの充実	ホームページアクセス件数	H27-R1平均	目標値	805,000	810,000	815,000	820,000	825,000	件	デジタル政策課	
		802,792件	実績値	1,497,895	1,262,677						
	評価	○ 達成	○ 達成						以上		
0602 オープンデータ化の推進	オープンデータの公開件数	R1	目標値	13,000	13,500	20,000 (14,000)	20,200 (14,500)	20,400 (15,000)	人	デジタル政策課	
		12,671人	実績値	19,182	19,940						
		評価	○ 達成	○ 達成							以上
0603 基幹系システムのクラウド運用	基幹系システムの稼働率	R3.2.1	目標値	50	65	130 (80)	145 (95)	160 (110)	件	デジタル政策課	
		34件	実績値	82	117						
		評価	○ 達成	○ 達成							以上
年度評価	R4		目標値	99.90	99.90	99.90	99.90	99.90	%	デジタル政策課	
		※5	実績値	100	100						
		評価	○ 達成	○ 達成							以上
0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。また、メールマガジン登録者数については、令和4年度の実績を踏まえ目標値の再設定を行った。											
0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。また、積極的に公開しているため、目標値の再設定を行った。											
0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。											

※5 システムのクラウド化に伴い、計測方法等が異なるため、基準値を一とした。

07 行政内部の電子化の推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0701 電子化（キャッシュレス納税、ペーパーレス化、電子決裁等）に向けた検討及び導入	電子化の導入件数（累計）	—	目標値	1	2	3	4	5	件	デジタル政策課 庶務課 収納課 企画課	
		※6	実績値	1	3						
		評価	○ 達成	○ 達成							以上
年度評価	R4	0701 「伊東市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」の施行及び電子申請システムを導入し、子育て・介護関係の手続について電子申請を可能とした。【1件】また、ビジネスチャットシステムについて、本格運用を見据えた試行運用を実施した。令和5年1月から、軽自動車税種別割の納付情報を軽自動車JNKs（車検時に滞納がないことを電子的に確認ができるシステム）に自動連携をさせ、軽自動車協会における軽自動車車検時の納税証明書の添付が原則不要となった。【1件】									

※6 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

08 文書等の標準化			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0801 標準的な文書等の作成のための仕組みづくり	文書事務研修会の開催	R2	目標値	1	1	1	1	1	回	庶務課	
		1回	実績値	1	1						
		評価	○ 達成	○ 達成							以上
年度評価	R4	0801 文書事務に関する新任研修のほか、ガールズ資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									

※機構改革に伴う業務の見直しのため、～R4：秘書課、情報政策課、R5～：職員課、デジタル推進課

※目標値における（）は、当初の目標値

担当課	財政課・企画課・収納課・課税課・公営競技事務所	構想の推進1の全指標達成率					
構想の推進	総合計画を推進するための土台づくり	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3 健全かつ持続可能な財政運営	指標数	13	13	13	13	13
目指す姿	健全かつ持続可能な財政運営ができています	達成数	11	9	0	0	0
		達成率	84.6%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	2	2	2	2	2				
	達成数	1	1	0	0	0				
	達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
成果指標 1	全ての会計の地方債残高（臨時財政対策債を除く）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1 324億円	目標値	320	315	310	305	300	億円	財政課
			実績値	310	298				以下	
			評価	○ 達成	○ 達成					
目標値の考え方	R1の324億円を基準に、健全化判断比率の状況等を勘案して、現在は、適正な地方債残高だと判断し、今後、大幅な税収増も見込めないことから、借入を抑制し、将来の負担を軽減するために300億円以下と目標値を設定した。									
成果指標 2	「市の財政の健全な運営」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2 52.1%	目標値	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	%	財政課
			実績値	45.3	49.4				以上	
			評価	× 未達成	× 未達成					
目標値の考え方	R2の52.1%を基準値と考え、市民の過半数が本市の財政状況を憂うことなく、生活（市民サービスを受容）できている状態である現状を維持していくことを目標としたため。									
R4年度	1（実績評価）・地方債残高については、目標を達成できた。一般会計において、これまでの大規模事業の実施により地方債残高が増加したことに加え、今後も大規模事業が見込まれるため、借入の抑制に努める必要がある。 （次年度修正点）・今後も借入の抑制に努めていく。									
	2（実績評価）・令和3年度に比べ、4.1ポイント上昇したものの、目標値には届かなかった。 （次年度修正点）・市民に分かりやすい財政状況の開示に努めていく。									

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）	指標数	11	11	11	11	11			※ 基本的な取組・主な内容の達成状況			
	達成数	10	8	0	0	0						
	達成率	90.9%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%						
O1 健全な財政運営と財政基盤の強化	達成状況	指標数	3	3	3	3	3					
		達成数	3	2	0	0	0					
			達成率	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
				R1	目標値	3.0~5.0	3.0~5.0	3.0~5.0	3.0~5.0	3.0~5.0	%	財政課
O101	歳入の確保と歳出の抑制	実質収支比率	2.3%		実績値	5.4	5.3			程度		
					評価	○ 達成	○ 達成					
O102	経常経費の節減	経常収支比率	88.8%	R1	目標値	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	%	財政課
					実績値	83.1	88.8				以下	
				評価	○ 達成	× 未達成						
O103	借入金の健全化	実質公債費比率	6.1%	R1	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	%	財政課
					実績値	5.7	5.6				以下	
				評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	O101 実質収支比率については、目標を達成できた。新型コロナウイルス感染症の影響緩和により地方税が増加したものの、地方特例交付金が減少したこともあり、前年度とほぼ同水準となった。											
	O102 経常収支比率については、歳出では、人件費、物件費及び繰出金が増となり、歳入では、地方税や地方交付税が増となる一方で、地方特例交付金や臨時財政対策債が減となり、目標を達成することはできなかった。今後については、歳出においてはさらに経常経費を抑制しつつ、歳入においては市税の増収に努めていく。											
O103 実質公債費比率については、目標を達成できた。要因としては、分子において、公債費に準ずる債務負担行為に係るものが43,538千円減少しているものの、元利償還金の額が47,975千円、公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金が増加しており、分母において、普通交付税額が386,836千円、標準税収入額が218,389千円増加しているものの、臨時財政対策債発行可能額が970,885千円減少していること等による。												

O2 財源の効果的活用	達成状況	指標数	1	1	1	1	1				
		達成数	0	0	0	0	0				
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				R2	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	%
O201	PDCAマネジメントサイクルの推進	見直し事業の割合	20.6%		実績値	22.8	23.8			以上	
					評価	× 未達成	× 未達成				
年度評価	O201 見直し事業数は増えたが、事業数も増えており、割合としては目標値に届かなかった。令和5年度についても、引き続き見直し項目を増やし、積極的な見直しにつなげる。										

O3 自主財源の確保			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	4	3	0	0	0		
				達成率	100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O301 課税客体的確な把握	現年課税分調定額 (個人市民税)	R1 2,893,707千円	目標値	2,707,242	2,750,000	2,855,787 (2,800,000)	2,900,000	3,000,000	千円	課税課	
			実績値	2,875,985	2,900,682						
			評価	○ 達成	○ 達成						
	現年課税分調定額 (法人市民税)	R1 484,380千円	目標値	393,038	383,711	469,669 (383,711)	383,711	383,711	千円	課税課	
			実績値	396,785	427,426						
			評価	○ 達成	○ 達成						
現年課税分調定額 (固定資産税)	R1 5,329,725千円	目標値	4,714,800	5,328,900	5,114,350 (5,308,900)	5,168,900	5,168,900	千円	課税課		
		実績値	4,861,871	5,160,997							
		評価	○ 達成	× 未達成							
O302 徴収体制の強化	市税の収納率	R1 92.1%	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	%	収納課	
			実績値	94.1	94.9						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4	O301 評価：固定資産税調定額については、土地の下落修正及び家屋の新築件数の減少から目標値を下回った。 目標値の修正：令和5年現年課税分調定額目標値について、より現実の数値に近づけるため、令和5年度当初予算額に修正する。									
		O302 市税の収納率は、滞納整理を推進する中で、滞納繰越分は新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例を受けたものの納付があった前年度から反動減となったが、現年度分は引き続き前年度を上回り、目標値を1.9%ほど上回ることができた。									

O4 競輪事業の健全運営			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401 車券売上金の増加対策(場 間場外発売及び電話・イン ターネット投票の拡大)	年間総車券売上高 (本場開催分)	R1 150億円	目標値	160	170	180	220 (190)	200	億円	公営競 技事務 所	
			実績値	270	318						
			評価	○ 達成	○ 達成						
O402 新規ファンの獲得	民間ホ-ルサイトによ る車券売上高(重 勝式+7賭式)	R1 48.5億円	目標値	68.8	73.1	77.4	106 (81.7)	86.0	億円	公営競 技事務 所	
			実績値	161.8	199.1						
			評価	○ 達成	○ 達成						
O403 開催経費のより一層の 適正化	開催経費率(払戻金 75%を除く年間経費÷ 本場開催の年間総車券売 上高)	R1 25%	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	%	公営競 技事務 所	
			実績値	23.2	22.7						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4	O401 電話・インターネット投票の売上が好調なため、目標を達成できた。引き続き、魅力ある競輪場をめざし、売上向上を図りたい。 令和6年度に特別競輪「第9回ウイナーズカップ(GⅡ)」開催が決定したため、目標値を増加した。									
		O402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の約63%(令和3年度は約59%)に達する等好調なため、目標を達成できた。 引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図りたい。 令和6年度に特別競輪「第9回ウイナーズカップ(GⅡ)」開催が決定したため、目標値を増加した。									
		O403 選手賞金等の上昇もあったが、業務見直しの結果、目標を達成できた。 引き続き業務の見直しを実施することによって、更なる開催経費率向上を図りたい。									

※目標値における()は、当初の目標値